
君が好き。

ウメ子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
君が好き。

【Nコード】
N0975C

【作者名】
ウメ子

【あらすじ】
好きな人に告白をする前って、どんなコトを考えますか？

(前書き)

かなり短文です。

君が好き。

本当はこの一言を君に伝えたい。

たった一言を君に伝えられないのは、僕に勇気が足りないから。

僕の気持ちを君に伝えるコトで、君と僕の関係が壊れてしまうんじゃないか、君が僕から離れてしまうんじゃないか……

そんなコトばかり考えてしまって、今でも伝えるコトができない。

君に逢うたび、君の声を聴くたび、君に触れるたびに君への気持ちが強くなっていくコトを感じている。

そのたびに君に伝えようとしても、今はまだ言わないほうがいいんじゃないかと思い、伝えるタイミングが見つからない。

このままではいけないというコトは分かっている。

伝えるコトができずに後悔するかもしれない。

それでも君に好きだと言えない僕は、君をただ見つめて、気持ちを隠したまま君と過ごすコトしかできないんだ。

そんな想いを抱えながら、今日もまた君と逢う。

君が来るまでの間、ずっと君のコトを考えている。というより、毎日考えているのは君のコトだけ……

誰かをこんなに愛しいと想えるなんて、君を好きになるまで知らなかった。

誰かを好きになるコトがこんなに切なく苦しいなんて知らなかった。

この気持ちを教えてくれたのは君。

だから君に僕の気持ちを知ってほしいと思うんだ。

君は今日も僕のもとへやってくる。
そんな君を愛しく感じながら、僕はとうとう決心する。

今日こそ君に僕の気持ちを伝えよう。
大好きな君に伝えたい、たった一言。
君はどんな表情で聴いてくれるだろうか。

どんな結果になろうとも構わない。
伝えるコトが大切だから。

僕をみて、どうしたの？とほほ笑みながら聞く君を前に、高鳴る心臓を少し落ち着かせる。
君の瞳を見つめながら、僕はずっと伝えたかった言葉を口にする。

「君が好き」

END

(後書き)

急に思いついたので、話という感じではない気がします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0975c/>

君が好き。

2010年10月15日14時39分発行